

**平成30年度(2018年度)  
へき地学校教育支援事業 募集要項**

**募集概要**

<b>事業目的</b>	目的	交通条件及び文化的諸条件に恵まれない山間地や離島に所在する学校の教育内容を充実することに寄与貢献することを目的とする。ただし、この事業は平成29～33年度に限定した事業である。
	募集対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道内において、「へき地教育振興法」に基づいた指定学校のうち、原則へき地等級2～5級の全ての学校を対象とする。</li> <li>・平成30年度の助成対象校には本支部より通知を発送する。該当校は通知に基づき申請手続きを行う。</li> </ul>
	対象の事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) へき地学校がもつ課題に対して研究・活動を行う事業</li> <li>(2) へき地学校の課題を解決するために備品・教材を購入し教育環境を整備する事業</li> <li>(3) 地域や保護者、近隣の学校及び各団体と連携して行う事業</li> </ul>
<b>応募について</b>	申請期間	<b>平成30年4月16日（月）～平成30年5月23日（水） 当日消印有効</b>
	申請書類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請書（様式2）、口座報告書（様式3）</li> </ul>
	審査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育振興事業選考委員会の審議を経て助成を行う。</li> </ul>
	助成金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1校に5万円以内を助成する。</li> <li>・助成金は6月下旬までに指定口座へ送金する。</li> </ul>
	事業例	<p><b>【教育研究助成事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・へき地学校が持つ課題に対して研究・活動を行う事業 （例：少人数・小規模校における効果的な授業方法の研究）</li> <li>・へき地学校の課題を解決するために備品、教材を購入し、教育環境を整備する事業 （例：ICT教材、体育用品の提供）</li> </ul> <p><b>【教育文化事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や保護者、近隣の学校等及び各関係団体と連携して行う事業 （例：運動会、公開授業、学芸会、各団体との協賛事業）</li> </ul>
	助成金の使途	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍・物品等の購入は、使途期間内に使い切るものとする。</li> <li>以下に記載した費用は対象外とする。</li> <li>(1) 人件費（ただし、外部講師の謝礼は可）</li> <li>(2) 研修参加費（交通費も不可）</li> <li>(3) 学校の一般管理費（例：公共料金の支払等）</li> <li>(4) 懇親会等の飲食費</li> <li>(5) その他事業に関係ない物品購入費等</li> </ul>
	使途期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金の使途期間は、着金日から平成31年1月末日までとする。</li> </ul>
<b>事業完了</b>	報告書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書（様式4）を平成31年2月22日（金）までに提出する。</li> <li>・領収書（コピー可）綴りを同時に提出する。</li> </ul>

受付番号	※
------	---

(様式2)

## 平成30年度 へき地学校教育支援事業申請書

平成30年 月 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 北海道支部

支部長 鈴木 富士雄 様

申請者 (校長氏名・印)

印

貴財団の「へき地学校教育支援事業」について、下記のとおり申請いたします。

### 記

#### 1. 申請金額

金	円
---	---

#### 2. 学校情報

学校名	学級数	学級	児童・生徒数	名
	うち特別支援学級数	学級		
	教職員数	名 (管理職を含む)		
住所等	〒			へき地等級
	電話	Fax		
この申請書に関する担当者	職・氏名			級
	E-mail:			

#### 3. 研究・活動の主題

--

#### 4. 申請理由・研究活動の概要

--

#### 5. 助成金使用予定内訳

使 途	金額(単位:円)
合 計	

\* 助成金は、使途期間内に使い切るものとする。

\* 助成金の使途期間は、着金日から平成31年1月末日までとする。

注：下記の経費は助成対象となりません。

- (1) 人件費（ただし、外部講師の謝礼は可）
- (2) 研修会参加費（交通費も不可）
- (3) 学校の一般管理費（例：公共料金の支払等）
- (4) 懇親会等の飲食費
- (5) その他事業に関係ない物品購入費等

#### 【個人情報の取り扱い】

- ・申請書に記入された個人情報は、選考及び選考結果の通知のために使用します。
- ・助成が決定した場合は、申請書に記入された学校の名前及び研究活動等を、ホームページや広報誌等で公表することがあります。

**提出締切：平成30年5月23日（水）まで**

受付番号 ※

(様式2)

# 記入例 平成30年度 へき地学校教育支援事業申請書

平成30年 4 月 ○ 日

公益財団法人 日本教育公務員弘済会 北海道支部  
支部長 鈴木 富士雄 様

申請者 (校長氏名・印) 教 弘 太 郎

学  
校  
印

貴財団の「へき地学校教育支援事業」について、下記のとおり申請いたします。

## 記

### 1. 申請金額

金 50,000 円 手書きで「50,000」と記入

### 2. 学校情報

学校名	〇〇町立〇〇中学校	学級数	3 学級	児童・生徒数	12 名
		うち特別支援学級数	0 学級		
		教職員数	7 名	(管理職を含む)	
住所等	〒 012-3456	〇〇郡〇〇町〇丁目〇番	へき地等級	2 級	
	電話 0123-45-6789				Fax 0123-45-6780
この申請書に関する担当者	職・氏名	教頭 北海 波子 連絡可能なアドレス			
	E-mail:	〇〇〇@〇〇〇. 〇〇. JP			

### 3. 研究・活動の主題

【例】「少人数学級による表現力の育成～ICT機器の活用を図って～」 「地域人材を活かした特色ある教育活動の推進」 「閉校に伴う思いでづくり事業～地域とともに～」 「開校100周年記念事業の展開～記念誌づくり～」 など

後日提出の「報告書」と一致させる

### 4. 申請理由・研究活動の概要

【例】本校は、へき地4級全校児童25名の少人数校である。コミュニケーションや人間関係の希薄化は～～～。そこで、ICT機器を活用して～～～。

【例】本校は、地域の行事に積極的に参加し、地域と一体となった～～～。そこで、授業の中で地域の人材を活かした～～～に取り組むことを通して～～～。

【例】本校は、平成〇年度に近隣の〇〇中学校との統合が計画されており～～～。開校して80年となる本校の歴史を踏まえた記念行事を開催し～～～。

【例】本校は、平成〇年度に開校100周年を迎える。地域と共に歩んできた歴史を振り返る記念誌を発行し、地域と共に～～～。

募集要項の「事業例」を参考に、記載してください。

## 記入例

### 5. 助成金使用予定内訳

使 途	金額(単位:円)
・ 体力づくりのための教具（長縄、ハードルなど）	35,000円
・ 歩数計	15,000円
~~~~~	~~~~~
・ 記念誌作成用印刷用紙	40,000円
・ 講師謝礼	10,000円
合 計	50,000円

- \* 助成金は、使途期間内に使い切るものとする。
- \* 助成金の使途期間は、着金日から平成31年1月末日までとする。

注：下記の経費は助成対象となりません。

- (1) 人件費（ただし、外部講師の謝礼は可）
- (2) 研修会参加費（交通費も不可）
- (3) 学校の一般管理費（例：公共料金の支払等）
- (4) 懇親会等の飲食費
- (5) その他事業に関係ない物品購入費等

#### 【個人情報取り扱い】

- ・申請書に記入された個人情報は、選考及び選考結果の通知のために使用します。
- ・助成が決定した場合は、申請書に記入された学校の名前及び研究活動等を、ホームページや広報誌等で公表することがあります。

- 合計金額は、5万円になるように予定として記入してください。
- 平成31年1月末までに使い切ってください。
- 「報告書」「領収証」の送付は、平成31年2月22日(金)締切りです。

#### <報告の際>

- 領収証はコピー可。
- 領収証の宛先には、学校名を入れる。
- 「品代」は不可。品名が分かるように記載。
- 領収証の合計額は5万円を超えていれば良い。
- アマゾンなど通信販売の場合は、プリントアウトした「支払い情報」や郵便局等の「振込受領書」が良い。
- 提出書類等は、必ずコピーを保存してください。

**提出締切：平成30年5月23日（水）**

## 平成30年度「へき地学校教育支援事業」助成金 振込口座報告書

報告者氏名（職名）	( )
学校名	
学校電話番号	

記入に当たっては、通帳に記載してあるとおり、省略せず、正確にご記入ください。

- ◆ 振込先金融機関は、支店名も含め、通帳で確認してご記入ください。  
※「JAバンク」の記載について（例）「新函館農業協同組合 七飯支所」の場合  
「新函館」を金融機関名に、「農協」に○印、「七飯」を支店名に記入。
- ◆ 口座名義は、文字を略さず、通帳通りご記入ください。また、フリガナを必ずご記入ください。
- ◆ 口座名義は、学校の口座を指定してください。

## 【銀行・信用金庫・農協等の場合】

振込先 金融機関名	銀 信 農 信 其 行 用 用 用 他 金 庫 協 組 合 庫 庫 協 合 他	支店
預金種類	普 当 貯 其 通 座 蓄 他	口座番号 (7桁)
フリガナ		
口座名義 (漢字名)		

## 【ゆうちょ銀行の場合】

店名	「一九八」などの漢数字3桁で記入してください。
口座番号	
フリガナ	
口座名義 (漢字名)	

**提出締切：平成31年5月23日（水）**

受付番号 ※

(様式4)

## 平成30年度へき地学校教育支援事業報告書

平成 年 月 日

公益財団法人日本教育公務員弘済会北海道支部  
北海道支部長 様

申請者(校長氏名・印)

印

### 1. 学校情報

学校名	
-----	--

### 2. 研究・活動の主題

--

### 3. 事業報告(助成金の使途や成果の概要を記入してください)

--

### 4. 助成金使用内訳

助成金額	金	円
	使 途	金額(単位:円)
	合 計	

- 注：下記の経費は助成対象となりません。
- (1) 人件費(ただし、外部講師の謝礼は可)
  - (2) 研修参加費(交通費も不可)
  - (3) 学校の一般管理費(例：公共料金の支払等)
  - (4) 懇親会等の飲食費
  - (5) その他事業に関係ない物品購入費等

- \* 助成金は、使途期間内に使い切るものとする
- \* 領収書(コピー可)を添付する
- ※ 主な品名が記載された領収書であること
- \* 提出締切り:平成31年2月22日

へき地学校教育支援事業 領収証貼付用紙

領収証 No.

--

領収証 No.

--

領収証 No.

--

領収証 No.

--